5年 社会 日本の国土（国土の気候とくらし）一問一答（7問）　版Bの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 6月から7月ごろにかけて、雨やくもりの日が多く続く時期を何というか

梅雨
（つゆ・ばいう でも正解）

(2) 夏は海から南東の風、冬は大陸から北西の風というように、季節によって向きが変わる風を何というか

季節風
（モンスーン でも正解）

(3) 岐阜県南部などで、洪水から家や田畑を守るために、まわりを堤防で囲んだ地域を何というか

輪中
（わじゅう でも正解）

(4) 沖縄県の古い家で、台風の強い風を防ぐために家のまわりに積んだ石のかべを何というか

石垣
（石がき でも正解）

(5) 沖縄県で多くつくられている、砂糖の原料になる作物を何というか

さとうきび
（サトウキビ でも正解）

(6) 寒い地域で、道路の下に電熱線や温水の管を通して、雪をとかすしくみを何というか

ロードヒーティング
（融雪設備 でも正解）

(7) 長野県の八ヶ岳のふもとにある、夏でもすずしく、レタスなどの高原野菜づくりがさかんな高原を何というか

野辺山原
（野辺山高原 でも正解）